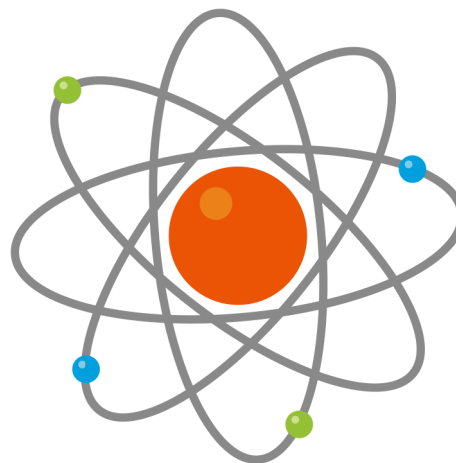


図書館サイエンス夜話とは？

サイエンスカフェとはもともと科学者や技術者と市民が科学の話をするカフェのこと。1998年にイギリスで始まったとされています。現在では、特に飲食をする場でなくとも、語り手と聞き手が打ち解けた雰囲気の中で科学について語る場をサイエンスカフェといっています。

「図書館サイエンス夜話」は鶴舞中央図書館があいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワークの協力を得て開催するサイエンスカフェです。あいちサイエンスフェスティバルの期間中、二夜にわたり開催いたします。皆様ふるってご参加ください。



名古屋市鶴舞中央図書館

名古屋市昭和区鶴舞1-1-155
電話:052(741)9822

古紙パルプを含む再生紙を使用しています

第二夜

図書館サイエンス夜話 ブックリスト②



令和4年11月2日(水)
「アインシュタインも納得しなかった
量子論の不思議」

名古屋大学大学院情報学研究科 教授

谷村 省吾氏

あいちサイエンスフェスティバル@つま

第二夜のブックリスト

★ 先生が選んだ 講演会関連書籍 ★

•「揺らぐ境界—非実在が動かす実在」

谷村省吾／著

(『日経サイエンス』2013年7月号pp.36-45、
『別冊日経サイエンス』2014年6月号
pp.66-75に再録)

•「アインシュタインの夢 ついえる

—測っていない値は実在しない」

谷村省吾／著

(『日経サイエンス』2019年2月号pp.64-71)

•量子力学10講

谷村省吾／著 名古屋大学出版会 2021

•アインシュタインの反乱と量子コンピュータ

佐藤文隆／著 京都大学学術出版会 2009

•量子力学の反常識と素粒子の自由意志

筒井泉／著 岩波書店 2011

•量子革命

—アインシュタインとボーア、偉大なる頭脳の激突
マンジット・クマール／[著] 新潮社 2013

•実在とは何か

—量子力学に残された究極の問い

アダム・ベッカー／著 筑摩書房 2021

•量子のミステリー

マーミン／[著] 丸善 1994

★先生のご著書や論文掲載誌★

多数ありますので、展示コーナーもご覧ください。

•幾何学から物理学へ

—物理を圏論・微分幾何の言葉で語ろう

谷村省吾／著 サイエンス社 2019

•〈現在〉という謎 —時間の空間化批判

森田邦久／編著 勁草書房 2019

•理工系のためのトポロジー・圏論・微分幾何

—双対性の視点から

谷村省吾／著 サイエンス社 2006

•ゼロから学ぶ数学・物理の方程式

谷村省吾／著 講談社 2005

•「自由意志問題の建設的な取り組み方」

谷村省吾／著

(『現代思想』2021年8月号pp.59-69)

★ 先生が子どもの頃に 好きだった本 ★

•学研まんが ひみつシリーズ

学習研究社

小学生の頃、学研の『ひみつシリーズ』が大好きでした。「豆ちしき」の欄などすみずみまで読んでいました。出版は1970年代ですが、今はKindle版が読めるようです。今の子どもたちにも読んでもらいたいです。宇宙や動物についての図鑑も大好きでした。

•ブルーボックス シリーズ

講談社

中学生の頃、講談社の『ブルーボックス』本が好きでした。とくに都筑卓司著の『四次元の世界』、『はたして空間は曲がっているか』、『マックスウェルの悪魔』などが面白かったです。

•物理法則はいかにして発見されたか

R.P.ファインマン／[著] 岩波書店 2001

大学生の頃、この本を読んで、自分も物理学者になろうと決心しました。

配架場所や予約の方法など、わからないことがありましたら職員におたずねください。